

今後の進め方について

航空局 航空ネットワーク部

空港技術課

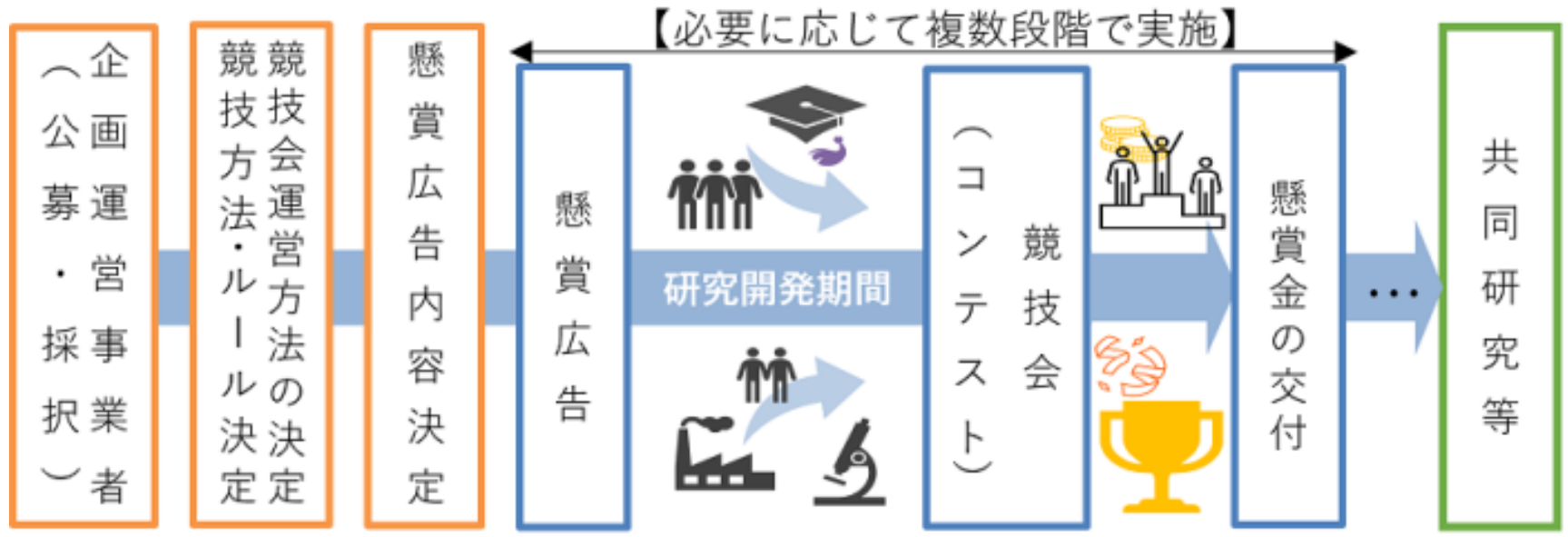
令和7年9月11日



- 開発物の開発にあたっては、経済産業省・NEDOと協力して、「NEDO懸賞金活用型プログラム」を活用する。
- 今年度は懸賞広告に向け、開発物の要件や評価基準等について引き続き検討する。

NEDO懸賞金活用型プログラム（経済産業省所管）

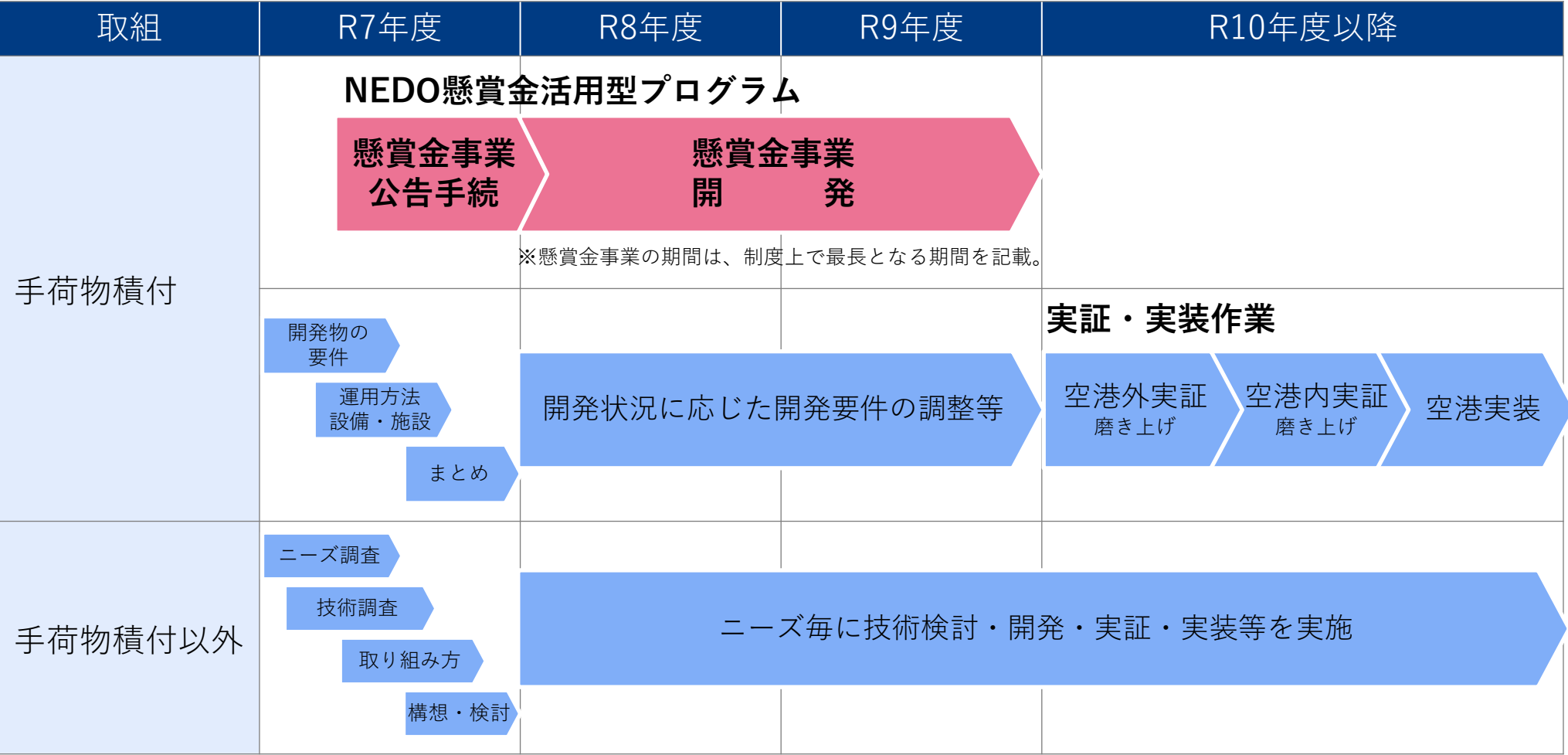
- 研究開発の目標、懸賞金の金額を掲げて応募を行い、応募者による成果をコンテスト形式で競わせ、目標の水準に達している者の内、上位数者に対して懸賞金を交付する。
- 従来のように研究開発を線形的・漸進的に進めるのではなく、多様な主体からの多様な知恵を集め、従来にない先端技術の開発成果を最大化する。
- また、共同研究につながる技術シーズの発掘を目指して実施する制度となっている。



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合研究開発機構HPより

- ・「NEDO懸賞金活用型プログラム／空港グランドハンドリング作業の生産性向上に向けた技術開発（手荷物積付）」では、企画運営に係る調査実施事業者が令和7年8月に決定し調査が進められている。
- ・本プログラムでは、懸賞金交付等審査委員会を設置し、競技会運営方法、競技方法・ルール、懸賞金の交付等に関する議論、審査が行われる。

- 手荷物積付作業について、NEDO懸賞金活用型プログラムでの開発を行った後、実証等を行う。
- 手荷物積付以外のグラハン作業について、技術調査等を行った後、順次検討を進めていく。



- 本検討会は、令和7年度中に今回を含めて計3回実施予定である。

○ 予定している議事は下表のとおりである。

	時期	議事（案）	
		手荷物積付	手荷物積付以外
第1回	2025年9月11日	● 手荷物積付作業の生産性向上方針（開発物の開発要件等）	● 手荷物積付以外のグラハン作業のニーズ調査
第2回	2025年冬頃 【予定】	● 手荷物積付作業の生産性向上（状況のフォローアップ等）	● 項目別の技術調査と取り組み方の素案
第3回	2026年春頃 【予定】	● 手荷物ソーティング設備・施設の課題・対応策 ● 今年度成果のとりまとめと次年度以降の検討課題	● 項目別の取り組み方 ● 今年度成果のとりまとめと次年度以降の検討課題